

# 高次脳機能障害

—当事者、家族、そして支援者の方々に—



絵・石井一隆(当事者)

## なごみだより

令和4年度冬号(第37号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2023.1.31 発行



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。

## はじめに

2023年の新しい年を迎えました。2022年は国内外共にコロナ以外の問題もたくさん起きてざわざわした一年だったように思いますが、2023年は先の見通せる心安らぐ生活が送れる年になることを願わずにはられません。

さて、当会はこの2月で設立から16年目を迎えます。この間社会の変化は著しく、それに伴い私達の生活様式も大きく変容していて、今はその真只中に居るように感じられます。生活・就労・教育……あらゆるものの概念が大きく変わりつつあると思っています。このような大きな変革の時代に、私達は何を大切に考えてこれからの日本社会の方向付けをするのか、一人一人が熟考しなければならない時代だと考えます。特にこの日本で取り残されてきた人権や社会保障の問題、これらをしっかり考えたいと思うのは私だけではないでしょう。日々障害と向き合っているこの国で生活している一人として、この問題は最重要課題と考えています。

さて、当会もこれからの数年間は変革の年になりそうです。この会の存続は大きな意味があり、栃木県においてこれから先も必要とされる存在だと自負しています。そこでこの会の存続を考えた時、この変動の社会に合った活動の展開が必要とも考えていますので、この先も会の目的や意義を見失うことなく、会員の皆様と共に活動の形態や新しい活動の展開を模索しながら会の継続発展ができればと考えています。どうぞ本年も宜しくお願い致します。

会長 中野和子



---

## 目次

	ページ
はじめに.....	1
活動報告.....	2 - 5
1月から3月の活動（予定）.....	5
お知らせ.....	6
寄稿.....	7
<栃木県障害者総合相談所より>.....	8
令和4年度ご支援下さった皆様.....	9
高次脳機能障害友の会のご案内.....	10

# 活動報告

## 9月 研修(社会体験)旅行

9月17日(土) 那須どうぶつ王国 8:00~17:50 14名

コロナ禍での実施の為か参加者は予定より幾分少なかったのですが、雲一つない青空の下、那須の広大な丘陵の一画で飼育されている様々な動物達を見、触れ合い、売店や軽食コーナーではそれぞれ好みの物を飲んだり食べたりして楽しい一日を過ごすことができました。多くの家族連れで賑わう園内でしたので猫バスに乗るにも長い列をつくり、数多くの動物舎をめぐるにも体力的にも大変でしたが、支援の県障害者総合相談所小森様や国際医療福祉大の学生ボランティア・あじさいさんの力を借りて事故なく一日を過ごすことができ、参加者それぞれが印象に残る機会であり、良い思い出になったようです。



## 10月・11月 定例会 <パステル画>

10月 8日(土) ぽぼら 13:00~16:00 19名  
11月 12日(土) ぽぼら 13:00~16:00 20名

パステル画(カレンダー掲載予定の絵)ですが、今回は前回の作品に塗り重ねて更に自分の絵として納得のいく作品にしよう取り組みました。回を重ねる毎に自分の思い描く絵になった人もいれば様々なアイデアを加えて変化のある絵になった人、すでに描き上げたと考えて前回とは別の絵を描いた人、新しく会員になりパステル画に初めて挑戦した人等々それぞれですが、結果はとても人柄がにじみ出ている絵となりました。(12月下旬にカレンダーとして作られましたが、今年は印刷製本費等の高騰により正(家族)会員中心の配布となりました。ご了承下さい。)

2回とも国際医療福祉大のボランティアサークル(スラオ・あじさい)の学生さんの参加もあり、とても楽しく支えていただきながら活動が行われました。感謝です。

## 12月 クリスマス・ランチ会

12月3日(土) ホテル東日本宇都宮フォンテーヌ 11:30~14:00 36名

久々に多くの会員の皆様にご参加いただきクリスマス・ランチ会を開くことが出来ましたが、それ以上に参加された皆様の笑顔が今も忘れられません。会場のお店の方にもいろいろと配慮を頂き、十分大きなスペースを確保していただいた上での実施で、大過なくこのクリスマス・ランチ会が実施できたことは本当によかったです。会場が駅から遠いこともあり、県の障害者総合相談所の所長さんはじめ高次脳機能障害担当の方々には、早い時刻からバス停で立っていただき道案内をしていただいた上に会場でもそれぞれに多くの家族や当事者と交流をしていただいて、ここでもまた支えられているからこその会の活動であることをつくづく感じながら皆さんの横顔を写真に収めました。帰り際のプレゼント交換もちょっとおまけの楽しみでしたね。思いがけな

い矢口様からの全員へのプレゼントも皆さんとても嬉しそうでした。賛助会員ながら10年以上前から機会ある毎に参加して頂き、ご寄付まで届けて下さった方、初めて参加して下さった当事者会員の方、10数年振りで会に戻ってこられたご家族等、本当に楽しい一時を過ごすことができ、このような機会の大切さも実感できるランチ会となりました。



家族の集い 9月28日(水) 宇都宮中央市民活動センター 13:00~15:00 5名  
11月30日(水) 宇都宮中央市民活動センター 13:00~15:20 7名

家族間での障害受容や負担度の相違、就学、就労上での様々な苦労や問題点などの話題が多く出されました。

※会場が変更になりました。新会場はこれまでのカフェ・インクブルーのすぐ近くです。特別な問題はないようです。パーキングはありますがあまり大きくはありませんので駐車できない場合もあります。ご注意ください。市役所の駐車場からも徒歩圏内ですので、ご利用下さい。

### ミニ家族相談会<足利>

11月26日(土) 足利生涯学習センター 13:30~15:30

参加者 13名 (家族4名 支援者7名 当会役員2名)

今回は足利赤十字病院のリハスタッフの皆さんのご協力により、事前申し込みは6家族に上りましたが、当日の体調不良により2家族の方が欠席され、来談されたご家族は4人となりました。今回の相談会では、3事例がご家族の介護度が非常に高い重度の障害を有する当事者を支えるご家族でしたので、これまでの相談会とはまた違った話の内容になり、特に母親の介護負担の問題が多く話されました。日々様々な状況が展開される中で、それぞれの状況下で相談できる支援者の有無、また自然災害やコロナ感染等の緊急時の対応の問題なども話題となりました。参加された7名の支援の方々には各々のお立場から助言をいただき、ご家族にとって心強く感じられる機会であったと思われれます。また一方グループホームの問題もありました。家族としてはグループホームに関する情報がなかなか入りづらい状況にある今、どのように日々の生活の様子を把握し、安心して任せられるのか大きな課題です。施設と家族との意思疎通を十分に行える環境調整が必要ですが、なかなか簡単にはできないのが実情で、ここでもまた仲介する相談員さんの力が必要であり、環境調整の大きな鍵を握ると考えられます。

役員会 9月24日(土) 10:30~14:00 ぽぽら 9名  
11月19日(土) 10:30~12:00 ぽぽら 6名

通常の議題に加えて来年度以降の役員体制と今後の活動についての話し合いが行われました。この話し合いはこれからもしばらく続けられます。

○ 電話相談	9月——6件	10月——6件	11月——1件	12月——4件
○ 個別相談	9月——1件			

## その他の活動報告

赤い羽根街頭募金活動 10月23日(日) JR宇都宮駅西口 11:30~13:30

呼びかけに進んで参加してくれた3名の当事者と役員1名、計4名で宇都宮市の社会福祉協議会や民生委員の方々と共に募金活動を行ないました。この時の募金額は8,332円となりました。初参加の2名の会員さんは最初なかなか声掛けができないようでしたが、だんだんと声が出てきて募金箱に入れてくれる人がいるとホッとしたような嬉しそうな顔も見られました。ご苦労様でした。貴重な体験でしたね。

障害者文化祭・カルフル栃木 11月11日(金) 福祉プラザ

コロナ禍もあり規模を縮小して実施されました。当会はパネル展示のみ参加しました。

駒生園家族教室講師派遣(中野) 11月24日(木) 駒生園 13:15~15:00

講話と入所者家族(3組)との懇談

県・高次脳機能障害支援連携協議会出席(中野)

12月23日(金) 健康の森 16:00~17:30

高次脳機能障害小児用リーフレット案について、高次脳機能障害支援マニュアル改定案について、等の話し合いがオンラインで行われました。

## 1月から3月の活動予定とお知らせ

### 1月~3月までの活動予定

1月 14日(土)	定例会(パソコン教室)	ぼぼら	13時	~	15時半
25日(水)	家族の集い	宇都宮市民活動センター	13時	~	15時
28日(土)	役員会	ぼぼら	10時半	~	14時
2月 18日(土)	ミニ家族相談会	宇都宮市総合福祉センター	13時半	~	15時半
<u>※2月の定例会は会場が確保できない為中止となります。</u>					
3月 18日(土)	定例会	ぼぼら	13時	~	16時
22日(水)	家族の集い	宇都宮市民活動センター	13時	~	15時
25日(土)	役員会	ぼぼら	10時	~	14時

3月の定例会は第3土曜日となります。ご注意ください。またこの時期天候あるいはコロナ・インフルエンザ感染状況等により予定の変更・中止が十分考えられますので、その場合には会員の皆様には事前にハガキ等でお知らせ致します。

## <お知らせ>

- 当事者を中心とした活動の展開を考え、ピアサポーター養成研修が全国的に始まりました。当会からも参加する予定です。
- 全国大会が今年度もオンラインになり 1 月 15 日（日）に開催されました。テーマは「高次脳機能障害支援法」制定に向けて。
- 2 月 18 日（土）に開催されますミニ家族相談会<宇都宮>に会員の皆様も是非ご参加下さい。地域の支援の方々に、直接思いや悩み或いはどのような支援を望んでいるかを聞いて頂く良い機会です。
- 国際医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科 中村真綺さんよりアンケート調査協力に対するお礼が届いています。

とちぎ高次脳機能障害友の会の皆様には、アンケート調査を快くお受けいただき、丁寧にご回答くださいました。心から感謝致します。皆様から頂戴した「声」を拝読し、「高次脳機能障害を理解してほしい」という皆様の切実な願いを強く感じました。本論文が、高次脳機能障害のあるご本人とご家族に対する理解を広げるきっかけとなれたら幸いです。また、勉強に対する励ましのお言葉をいただき、身の引き締まる思いです。改めて、福祉専門職として福祉に携わりたいという思いを強く持ち、今後も学業に努めて参ります。最後になりますが、皆様のご協力なくしては研究を進めることが出来なかったことを記し、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 訃報

会員 大河原 清 様のご尊父 大河原 清治 様が9月3日ご逝去されました。  
会員一同、心よりご冥福をお祈りいたします。



## 寄稿 —12月11日 交通事故被害者リモートセミナーに参加して— 中野 和子

前半、東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授の渡邊 修先生のお話でした。渡邊先生は日本高次脳機能障害友の会の顧問であり、熱心にそして意欲的に私達高次脳機能障害当事者・家族と向き合い、医療や福祉の支援者の育成にも早くからご尽力されておられる先生です。コロナ禍以前は私達家族も先生のお話を聴く機会は数多くあり、私も度々東京へ出かけては先生のお話を伺い、この障害を学び励まされてきた一人です。ただこのコロナ禍においては直接お話を伺えるセミナーも無くなり、リモートをあまり得手としない私の思いから、先生のお話を伺う機会はなくなっていました。

この日久しぶりに伺う先生のお話は大変明解で、私の頭の中の混乱も一つずつ整理されるように感じました。特に小児期の事故が原因でこの障害を負った息子の“生きづらさ”を親として再認識させられ、日々の自分の対応に反省しきりの機会となりました。それは目先の対応に追われる毎日で心に余裕をなくし、細部にしか目が向かなくなった自分を深く反省する時間でした。

後半は渡邊先生と交通事故弁護士全国ネットワーク代表 古田 兼裕弁護士との対談でした。古田先生はいつお話を伺っても高次脳機能障害者の状況を大変詳しく理解されている先生（残念ながらこの障害を十分に理解し対応して下さる弁護士の方は現在でも多くはありません。）ですので、お二人のお話は視聴された方の多くに役立つ内容だったと思います。

このセミナーの中で、大切なお話は沢山ありましたが、少しだけ触れられたことで私が大切なことと感じたことを二つ

挙げてみたいと思います。

一つ目は、渡邊 修先生の診察は基本的に家族同伴であることです。この障害はご存知のように当事者と家族とではその障害（症状）の認知に大きな差異があります。当事者だけの診察では十分な診療はできないと先生はお考えなのでしょう。当事者が何歳であっても、また受傷から何年経っていても、できる限り家族が同伴し、家族からの気付きを先生にお伝えした方が、先生に実態に即した症状が伝わると考えます。以前に、当会顧問の船越 政範先生からも、家族からは何も情報が伝えられない人もいて困っているというご意見を頂いた事がありました。

二つ目は、渡邊先生と古田先生の対談の中で自賠責等級の話がありました。事故の後の診断がこの障害にあまり精通しない医療者によってなされ書類が作成された場合、自賠責の等級はかなり軽いものとして決定されてしまう場合があります。しかしこの等級に大きな疑問を感じた場合には、もう一度再審査を請求することが可能ということです。（但し、これには最初の決定からの年数制限があります。確か 20 年だったと思いますが、関心のある方は詳しく調べて下さい。）

私はこの障害と向き合う中で数多くの先生方のお話を伺い、多くの関連する書籍を読み、栃木県に限らずあちらこちらの当事者や家族の方と顔を合わせ言葉を交わす機会を持ってきました。その経験から、私はそれまで知りえなかった多くの事を知りあるいは学んで、それが息子の障害と向き合う力となってこれまで少しずつですが歩んでこれたと感じています。これからもそうしていきたいと今は考えています。



# 栃木県障害者総合相談所のご案内

当相談所には、高次脳機能障害支援コーディネーターとして、3名の職員(保健師、行政職、作業療法士)が配置されており、高次脳機能障害のある方が身近な地域で安定した生活を送れるよう、様々な取組を行っています。

## 《障害者総合相談所の主な取組》

### 相談支援



- 支援コーディネーターが相談支援専門員等と連携し、包括的・継続的なケアマネジメントを行います。
  - ・当事者や御家族及び関係機関に対する相談支援
  - ・必要に応じて御自宅や入院先、利用中の事業所等へ訪問

### 地域支援



- 高次脳機能障害のある方を支える社会資源、事業所の支援及び関係者間のネットワーク構築を図ります。
  - ・ケース会議への出席、主催
  - ・相談支援事業者等の連絡会への参加

### 啓発・研修



- 多くの方に、「高次脳機能障害」のを知ってもらうための取組を実施しています。
  - ・高次脳機能障害セミナーの開催
  - ・リーフレットの作成・配布
- 理解を深め、支援の質を高めるための研修を行います。
  - ・医療従事者等研修
  - ・相談支援研修
  - ・家族教室
- 各種団体へ講師として職員を派遣します。

### 連携構築



- 医療・保健・福祉・就労等の関係機関、専門職団体及び家族会等と連携し、身近な地域で支援を受けられる体制づくりを目指します。
  - ・栃木県高次脳機能障害支援連携協議会
  - ・支援拠点機関コーディネーター同士の情報交換

なお、本県には、高次脳機能障害支援拠点機関として、『栃木県障害者総合相談所』と『栃木県立リハビリテーションセンター』があるほか、次の5つの医療機関が地域支援拠点機関として活動しています。

- ・足利赤十字病院(足利市)
- ・国際医療福祉大学病院(那須塩原市)
- ・栃木県医師会塩原温泉病院(那須塩原市)
- ・真岡中央クリニック(真岡市)
- ・リハビリテーション花の舎病院(野木町)

お困りのことがございましたら、まずは、お電話でご相談ください。

栃木県障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課



電話番号：028-623-6114

受付日時：8時30分から17時15分(土・日・祝日・年末年始を除く)

# 令和4年度ご支援下さった皆様

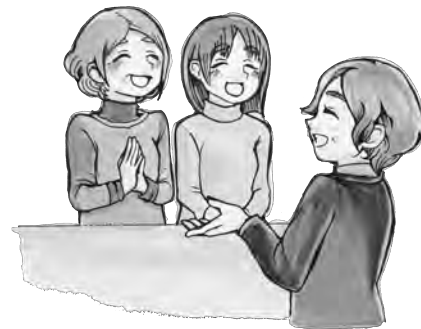
## 一心から感謝申し上げます。

<支援者正・賛助会員(個人・団体)並びにご寄付を下さった方々> 順不同

畦上 恭彦 様	船山 道隆 様	高柳 慎八郎 様	大門 亘 様
埴 瑞穂 様	永島 徹 様	小賀野 操 様	齋藤 賢治 様
大賀 昌子 様	谷口 君江 様	小原 枝美子 様	小森 まどか 様
袖山 史也 様	小野 二千光 様	片根 実 様	倉井 佳子 様
齋藤 正憲 様	齋藤 千恵子 様	坂本 ケイ 様	笹川 正憲 様
末武 洋一 様	蓼沼 美智代 様	行澤 省悟 様	成塚 陽太 様
平田 郁代 様	藤井 弘一 様	堀内 順子 様	鱒淵 史雄 様
松川 勇 様	松山 正子 様	小松 玲子 様	

交通事故・弁護士全国ネットワーク 代表弁護士 古田 兼裕 様  
株) 関東テック 柴田 聖子 様  
NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 金井 光一 様  
社会福祉法人みゆきの森 JOY みゆき 大関 喜子 様  
有) 芯和 Cocowa 青柳 匡宣 様

その他正会員の皆様からもテレホンカード、ハガキ、現金等のご寄付をいただきました。ありがとうございました。



### 寄付のお願い —いつも大変助かっております—

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書き損じの年賀状などございましたら是非ご寄付下さい。切手や新しいハガキに交換して活動の一助にさせていただいております。

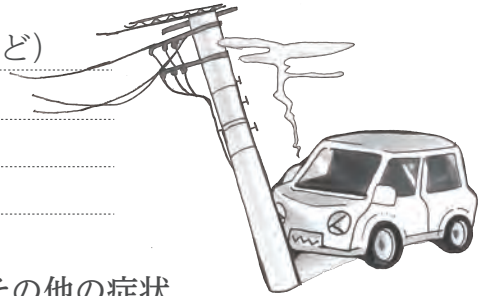
毎年のことですが、正会員の皆様の中で会費の納入をお忘れの方が 2～3 人おられます。ご確認をお願い致します。未納の方にも会報は一年間お送りさせて頂いておりますが、次年度からはお送りできませんので何卒宜しくお願い致します。なお、退会ご希望の方はご一報いただくと大変有難いです。

# 高次脳機能障害ってどんな障害？

☆生まれつきではなく下記のような疾病やけがの後遺症として出現する障害です。

## 主な原因

- 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）
- 交通事故や転倒などによる脳挫傷
- 心筋梗塞などによる低酸素脳症
- 脳炎、脳腫瘍 他



## 主な症状

### 記憶障害

- 新しいことが覚えられなくなってしまった。
- 自分のしたことを忘れる。

### 注意障害

- 仕事上のミスが多くなった。
- 複数の事を同時にできない。
- 集中が続かず気が散ってしまう。

### 遂行機能障害

- 自分で仕事や学習の計画がたてられない。
- 物事の優先順位がつけられない。

### 社会的行動障害

- イライラして暴言を発したり表情を険しくすることが多い。
- 周りの状況が理解できずその場に適した言動ができない。

## その他の症状

### 失語症

- 言葉がなかなか出てこなかったり聞いた言葉が理解しづらくなった。

### 地誌的障害

- よく知っている道路でも迷うことが多くなった。

### 失行症

- 普段使っていた道具の使い方がわからなくなった。

### 半側空間無視

- 片側にあるものを見落としてしまったりぶつかりやすくなった。

これらの症状は重複する事が多く、脳のダメージの大小や場所によって異なります。この障害のある人は、日常生活や社会生活を送る上で困難を感じている人が大変多いのですが、医療機関で診断されなかったり外見上わかりにくい上に当事者に自覚がないことも多くあり、配慮や支援を受けることなく孤立してしまう人も少なくありません。周囲の人の気づきと相談につながる事がとても大切です。

- 障害を理解し、それぞれの状況をしっかり受け止めましょう。（障害理解と受容）
- 理解し合える人と交流し、社会参加の足掛かりにしましょう。（共感と交流）
- 各々の症状に合う環境づくりを模索し、生活と心の安定を共に目指しましょう。（情報の入手と活用）

！まずは ご相談 ご連絡を！



◀カルフル栃木 パネル展示



▲赤い羽根 街頭募金活動



◀定例会 パステル画制作

## とちぎ高次脳機能障害友の会（栃木県の高次脳機能障害当事者と家族の会）

### 【活動内容】

- ・ 定例会（仲間リハ・なごみの会）
- ・ 家族の集い（奇数月開催）
- ・ 相談  
（個別—電話・面談）  
（集団—地域家族）
- ・ 講演会
- ・ 研修旅行
- ・ レクリエーション
- ・ 会報誌発行 等



【ご相談や入会・見学希望の方は、  
下記までご連絡下さい。】

とちぎ高次脳機能障害友の会 事務局  
〒329-0502下野市下古山3003-47  
(中野方)

Tel/Fax 0285-38-6485  
Eメール sp3k3h49@way.ocn.ne.jp



ホームページはコチラから

とちぎ高次脳機能障害友の会 |

検索

URL <https://www.tochigikoujinou.com>

### 編集後記

ある日の定例会、13名の当事者の方が参加し、支援者・役員含め総勢23人の賑やかな会となりました。パソコンに向かうまなざしは真剣で、その合間には互いに教え合ったり雑談したり楽しげに言葉を交わす姿があちこちで見られ、この会が着実に歩んでいることを実感でき

るととても嬉しい時間でした。

中野 和子

### 会報作成担当

表紙・絵 : 石井 一隆 石井 ミヨ

本文編集 : 中野 和子 中野 靖文

印刷・製本 : (有) 芯和 Cocowa®